

製品安全データシート

【製造者情報】

会 社 名 株式会社 善 管
〒730-0802 広島市中区本川町2丁目1-12 和光パレス21
担当部門 製品開発室 小林栄次
電 話 082-291-1972
緊急連絡先 同上

【製品名】 ZESP（ゼスぺ） I

【組成、成分情報】

単品、混合物の区別 : 混合物

酸性フッ化アンモニウム、界面活性剤、防錆剤

化学特性に関する情報 : 酸性フッ化アンモニウム（フッ化水素酸アンモニウム）を含有する水溶液。

化学式 NH_4HF_2

化審法番号 1-311と1-306の複塩

安衛法番号 化審法番号1-311と1-306の複塩

CAS No. 1341-49-7

国連分類 8 腐食性物質 国連番号 1727

【危険有害性の分類】

分類の名称 : 急性毒性物質、腐食性物質

火災・爆発性 : 本品不燃・なし

有 害 性 : 皮膚・目を刺激し炎症を起こす。失明することがある。
誤飲すれば、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、昏睡、衰弱、痙攣
虚脱死に至る。

生態影響 : データ無し

【応急処置】

皮膚に付いた場合 : 直ぐに流水で洗い流す。

目に入った場合 : 直ぐに流水で15分以上洗い流す。

誤飲した場合 : ミルクなどを飲ませてそれと共に吐かせる。

いずれの場合も速やかに医師の診断を受ける。

衣服に付いた場合 : 汚染された衣服は直に脱ぐ。

【火災時の措置】

- 消化方法 : 本品不燃
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所へ移す。移動不可能な場合、容器及び周辺に散水して冷却する。
※消化活動時保護具及び空気呼吸器着用。
- 消化剤 : —————
-

【漏出時の処置】

- 少量の場合 : 雑巾などで吸収し取り除いた後、多量の水で洗い流す。
- 多量の場合 : 土砂等で流出の拡大防止を図り、塩化カルシウムおよび消石灰で中和処理。土砂および沈殿物の除去後、多量の水で洗い流す。
土砂及び沈殿物は廃棄処分する。
※回収作業には必ず保護具を着用する。
-

【取扱い及び保管上の注意】

- 取り扱い : 保護眼鏡、保護手袋、保護マスク、ゴム長靴、保護衣を着用。
作業終了時には身体を洗う。液の付いた衣服などは洗濯する。
- 保管 : 直射日光を避け、密栓して冷暗所に保存する。
-

【暴露防止措置】

- 管理濃度 : 設定なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会：設定なし
- 設備対策 : 局所排気、取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けるのが望ましい。
- 保護具 : 保護眼鏡、保護手袋、保護マスク、ゴム長靴、保護衣。
-

【物理、化学的性質】

- 外観 : 淡黄色液体
- pH : 4.5～4.8
- 比重 : 1.01～1.16
- 溶解性 : 水に対して易溶
- 含有濃度 : 15%
- 臭気 : 僅かに酸性臭
-

【危険情報】

- 引火点 : なし
- 自然発火点 : なし
- 反応性 : アルカリと接触するとアンモニアガスを発生する。
ガラス・金属類・ケイ酸塩を侵す。蒸発乾固成分を空気中で強熱するとHFガス、NH₄F煙霧を発生する、
-

【有害性情報】

急性毒性	： 経口 マウス LD50 126mg/kg 経口 モルモット LD50 150mg/kg/48Hr 皮下 モルモット LD50 200mg/kg/48Hr
刺激性	： 皮膚・目を刺激し炎症を起こす。失明することがある。
その他の毒性	： フッ素慢性毒性（斑状歯、フッ素骨沈着など）
がん原性	： OSHA、NTP発がん性物質に記載なし。
生態影響	： データなし

【輸送上の注意】 ： 毒物劇物取締法に従う。荷崩、落下、破損防止。
 丁寧に取り扱う。

【廃棄上の注意】 ： 塩化カルシウムと消石灰で処理。沈殿物は埋め立て処分。
 上澄み液はpH5.8～8.6、F：15mg/l以下として排水。
 Nは規制値以内のこと。

【主な適用法規】 ： 毒物劇物取締法（劇物）
 輸送関連法：危規則・港則法（腐食性物質）
 水質汚濁防止法（F、N）、消防法9条2届出物質
 輸出貨物管理令別表第-3（1）に記載あり。

その他記載内容の問い合わせ先

株式会社 善 管 開発室 小林栄次
〒730-0802 広島市中区本川町2丁目1番12号
TEL (082) 291-1972

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取り扱いについては十分注意して下さい。
なお、含有量、物理化学的性質の数値は保証値ではありません。また、注意事項などは、
一般的な取り扱いを対象としていますので、特殊な取り扱いの場合はご配慮願います。
